

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	書 写 136 書 写 236 書 写 336 書 写 436 書 写 536 書 写 636	しょうがくしょしゃ 一ねん 小学しょしゃ 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年
取 扱 内 容 〔 各 学 科 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕	<p>硬筆について</p> <p>第 1, 2 学年では、はらいの向きに気を付けて書いたり、画の付き方や交わり方について考えたりする活動を通して、文字を正しく書く、第 3, 4 学年では、部首と他の部分の組立て方について考えたり、左右の部分の大きさや位置の違いを考えたりする活動を通して、文字の形を整えて書く、第 5, 6 学年では、原稿用紙や色紙など様々な用紙に合わせて書く活動を通して、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>毛筆について</p> <p>第 3, 4 学年では、1～2 字の漢字や平仮名の題材で、点画の形とその形を作る筆の動きに注意しながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く、第 5, 6 学年では、漢字仮名交じりの文言の題材で、筆や小筆、筆ペンなどを使用して点画相互、文字のつながりを意識して書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>硬筆と毛筆の関連について</p> <p>第 3, 4 学年では、文字の組立てや筆順と字形の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける、第 5, 6 学年では、文字の大きさ、配列などの理解、目的にあった筆記具の利用など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付けるなど、硬筆と毛筆の関連を図った教材を 27 扱い、目標を達成できるようになっている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応について</p> <p>第 1, 2 学年では、「広がる学び」において、観察したことについて絵日記を書いたり、フェルトペンで年賀状を書いたりするなど、第 3, 4 学年では、「広がる学び」において、丁寧な文字で老人クラブへのお礼の手紙を書いたり、読み手を考えて学級新聞を書いたりするなど、第 5, 6 学年では、「広がる学び」において、筆記具の特徴を生かしてポスターを書いたり、電話しながら大切な要件をメモに書いたりするなど、日常生活との関連を図った教材を 22 扱い、基礎的、基本的な知識、技能の習得を図る活動を取り上げている。</p>			
	<p>内容の構成・排列について</p> <p>第 1 学年では、平仮名について「折れ、曲がり」など、点画や文字の形の学習の後に、片仮名や漢字の学習を取り扱い、第 2 学年では、漢字について文字の形、筆順、点画の方向、点画の接し方や交わり方の学習の後に、文章表記を取り扱い、第 3 学年では、毛筆について 1 字の漢字の筆圧や始筆、送筆、終筆の学習の後に、2 字の漢字の筆使いを取り扱い、第 4 学年では、毛筆での 1 字の漢字の基本点画や画の長さ、毛筆と硬筆の関連の学習の後に、2 字の漢字の筆順と字形の関係、部分の組立てについて取り扱い、第 5 学年では、毛筆と硬筆の関連を図った漢字の組立て方や字形についての学習の後に、点画のつながり、文字の大きさ、配列について取り扱い、第 6 学年では、3 つの部分がある漢字の組立て方や字形の整え方、点画のつながりの学習の後に、3 字以上の文字の大きさ、配列、余白について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>内容の分量について</p> <p>第 1 学年～ 硬筆は 39 ページであり、総ページ数は 40 ページである。 第 2 学年～ 硬筆は 33 ページであり、総ページ数は 40 ページである。 第 3 学年～ 硬筆は 8 ページ、毛筆は 35 ページであり、総ページ数は 52 ページである。 第 4 学年～ 硬筆は 11 ページ、毛筆は 37 ページであり、総ページ数は 52 ページである。 第 5 学年～ 硬筆は 5 ページ、毛筆は 35 ページであり、総ページ数は 52 ページである。 第 6 学年～ 硬筆は 5 ページ、毛筆は 34 ページであり、総ページ数は 52 ページである。</p>			
使用上の配慮等	<p>目標の達成に向けたヒントを投げかけるキャラクターが登場したり（全学年）、本の紹介（第 4 学年）や随筆（第 6 学年）などの国語の教科用図書との関連を図った言語活動を取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>教材ごとに学習内容について自己評価欄を設けたり（全学年）、まとめて課題を設定できるようにしたり（第 3～6 学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>巻頭に 1 年間の学習の見通しをもたせる「学習のめあて」（全学年）や、巻末に次学年の学習内容を示す「チャレンジ」（第 2, 4, 5 学年）を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				